



「エコシティたかつ」 平成27年度 事業実施報告





学校流域プロジェクト





■ ビオトープ整備状況

- 子母口小学校に新たにビオトープを整備し、区内小学校全校と中央支援学校(旧市立養護学校)に整備済み



■ 環境学習支援の実施

- 15校のうち坂戸小学校を除く14校について、1回ずつ(参加児童数:延べ1,481名)の学習支援を実施。
- 内容:生きもの調査、観察、プールのヤゴ救出、チョウのビオトープ作り等





■ 雨水貯留タンクの設置状況

児童や生徒が自然における水循環について体感できるように、東高津小学校に雨水貯留タンクを設置し、「学校の小さなダム」として飼育小屋に降る雨水をタンクに溜めて、花壇の水やり等に活用出来るよう整備した。

【東高津小学校】



設置場所: 飼育小屋脇
仕 様: 飼育小屋の雨どいに接続する形で
設置。降った雨を120L貯留。



■ 教員向け研修会の開催

理科や総合学習などの授業において、ビオトープをより活用していただくことを目的として、教員向けの研修会を開催した。

日 時：平成27年7月27日(月)10時～12時

会 場：久本小学校 図工室及びビオトープ

参加者：31名

内 容：ビオトープの役割と環境学習支援事例紹介
ビオトープでの生きもの採取と観察・解説
質疑応答・意見交換会





たかつの自然の賑わいづくり事業





■ たかつ生きもの探検隊の開催

- 日 時:平成27年10月4日(日) 10時~12時30分
- 場 所:川崎市立緑ヶ丘霊園
- 講 師:小林 範和氏(NPO法人鶴見川流域ネットワーキング事務局長)
- 参加者:49名
- 実施内容:オリエンテーション

生きもの採取・観察

森の観察と林床の手入れ作業

湧水ポイントの観察





■ 当日の様子



【立体模型を活用した説明】



【生きもの採取】



【生きもの観察】



【アオキの抜き取り】

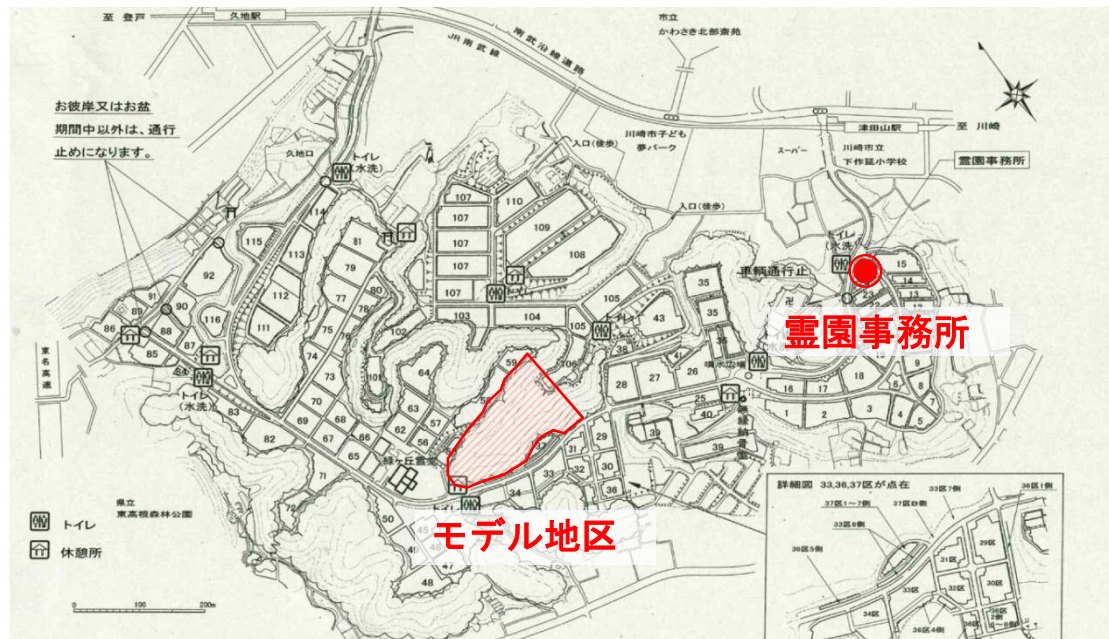


【ショウリョウバッタモドキ】
※東京都等では絶滅危惧Ⅱ類に
指定されている



■ たかつ水と緑の探検隊の開催

- 日 時:平成28年2月6日(土) 10時~12時10分
- 場 所:川崎市立緑ヶ丘霊園
- 講 師:岸 由二氏(エコシティたかつ」推進会議委員、慶応義塾大学名誉教授)
小林 範和氏(NPO法人鶴見川流域ネットワーキング事務局長)
- 参加者:22名





■ 作業内容

- ・モデル地区の谷戸の観察
- ・湧水ポイントの整備



【谷戸を散策路から観察】



【立体模型を活用した説明】



【谷戸の成り立ちについて説明】

【湧水整備のための杭打ち】





■ 間伐前と間伐後の比較



間伐前



間伐後



エコシティホールプロジェクト





緑のカーテン事業の展開

区役所や橘出張所、道路公園センターでゴーヤーによる「緑のカーテン」を設置すると共に、区役所食堂で提供（8月を中心に実施）



ゴーヤーによる緑のカーテン



ゴーヤーランチ



- エコシティホールツアーの実施(参加者65名)
- 庁舎の緑化推進



区役所庁舎エコシティホールツアー



「エコシティたかつ」推進フォーラム





「エコシティたかつ」推進フォーラム

- 日 時：平成27年12月6日（日）13:30～16:00
- 場 所：高津市民館 大会議室
- 来 場 者：約150名

★第1部 学校ビオトープ交流会

【発表校】梶ヶ谷小学校、下作延小学校

★第2部 講演

テーマ：ゲリラ豪雨から身を守る流域思考

講師：岸 由二 氏（「エコシティたかつ」推進会議委員、慶應義塾大学名誉教授）





各種啓発、イベント





「たかつエコシティツアー」について

■「たかつエコシティツアーマップ」の作成



「たかつエコシティツアー」について

■「たかつエコシティツアーマップ」を活用したプレツアーの実施(関係者向け)

- 開催日時:平成28年2月12日(金) 13時~17時
- 参加人数 20名
- スケジュール 13:00 高津区役所出発
13:20 矢上川地下調節池見学
14:50 下作延小学校 ビオトープ見学
15:30 緑ヶ丘霊園「たかつの自然の賑わいづくり」事業のモデル地区見学





「たかつ凸凹マップ」の作成

■「たかつ凸凹マップ」(高津区流域地形地図)の作成

